

授業科目	卒業論文(文屋)						実務家教員担当科目	-			
単位	4	履修	選択	開講年次	4		開講時期	通年			
担当教員	文屋 典子										
授業概要	専門研究での取り組みを基礎として、各々が設定した研究テーマについて論文の執筆を行う。指導は専門研究の担当教員が行う。なお、卒業論文発表会を実施する。										
授業形態	対面授業				授業方法						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	・専門領域の研究プロセスを学び、その成果を卒業論文としてまとめることができる。 ・専門領域の研究プロセスを学び、各自（各グループ）が設定したテーマに関して研究を深めることができる。 ・その成果を卒業論文としてまとめ、発表することができる。										
理想的レベル	専門領域の研究プロセスを学び、これまでの研究成果を踏まえた上で、自らの論文テーマを設定し、適切な研究方法を実践し、独創性のある卒業論文として成果をまとめ、発表することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト											
レポート			70				0				
発表（口頭、プレゼンテーション）			30								
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE31703J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
個人あるいはグループで、設定したテーマに関して研究し、その成果を論文としてまとめる。										4	
授業計画											
第 1 回	・卒業論文の履修者は 4 年次に履修登録を行う。なお、その際は事前に専門ゼミの担当教員に相談すること。 ・指導は専門ゼミの担当教員が行う。必要に応じて副指導教員を依頼することができる。 ・論文執筆の詳細については別途配布する「卒業論文作成の手引き」を参照すること。 ・卒業論文発表会を実施する（2 月中旬を予定）。 ※卒業論文の執筆は、個人でもグループでも構わない。										
テキスト	担当教員より紹介する。										
参考図書・教材／データ	担当教員より紹介する。										

ベース・ 雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	担当教員より提示する。
学生への メッセー ジ・コメ ント	・ 個人あるいはグループが設定したテーマに関連して調べた内容等について、振り返っておく。 ・ 卒業論文は大学 4 年間の集大成であり、論文を執筆するには研究領域・テーマに関する幅広い専門知識が必要となる。 ・ 日ごろの授業に加え、自主学習にも積極的に努めること。